

平成30年9月27日

世田谷区長
保坂 展人 殿

代田まちづくり協議会
世田谷区代田一丁目7-19
会長 柳下 隆



小田急線上部利用における通路と鎌倉通り交差部に関する要望書

私達「代田まちづくり協議会」は、世田谷区街づくり条例に基づく「地区街づくり協議会」として昨年5月に設立し、より良いまちづくりに向け、目標を掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。掲げる目標の一つに、「駅周辺のにぎわいと交通の利便性を享受できるまち」があり、代田地区では、鎌倉通り、赤堤通りなどの生活道路の利便性や安全性において、生活者目線での課題をあげ、解決策を検討しているところです。

平成30年3月の下北沢駅西側エリア公共施設設計内容等報告会におきましては、下北沢駅西側エリア整備における通路と鎌倉通り交差部（小田急線旧下北沢3号踏切跡地周辺）の動線計画について、区より説明がありました。この計画案では、通路と鎌倉通り交差部の横断箇所は直線では通らず、迂回して横断することになっていました。

鎌倉通りをはさんで、整備される緑地・小広場や商業施設などの小田急線上部利用施設は、今後、人々の往来が見込まれます。鎌倉通り交差部を迂回する場合は、下北沢駅への道のりが遠回りになり、高低差による移動に負担がかかるなど、利便性が損なわれ、安全性にも影響があります。また、小田急線上部利用空間が分断されるため、鎌倉通りを隔ててにぎわいが損なわれる可能性があります。

このエリアの利便性と安全性を確保し、にぎわいを創出するためにも、施設をつなぐ円滑な歩行者動線の確保は、とても重要です。そのため、小田急線上部利用における通路の鎌倉通り交差部は、鎌倉通りを直線で横断できるよう要望いたします。

(要望箇所参考図)

小田急線旧下北沢3号踏切部

